

世帯と人口

(12月1日現在)

世帯	44,038	(+ 37)
人口	119,104人	(+ 27)
男	60,871人	(+ 14)
女	58,233人	(+ 13)

この数値は平成13年10月31日付けで総務省統計局が公表した平成12年国勢調査の確定数を基に推計しています。

# 広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

\*この広報は再生紙を使用しています。



▶七重塔を背に…

中央公園から建設中の複合型商業施設を視察する  
亀井英一市長(右)。写真右上は駅東口整備の様子

## みなさんと共に 夢のあるまち実現を

明けましておめでとうございます。「一年の計は元日にあり」といいますが、新年を迎えたことを契機に、心身を一新することは大きな意義があります。これまでのことを見直し、新しい希望の出発点としたいものです。去年、21世紀の海老名の姿を展望した「第三次総合計画後期基本計画」がスタートしましたが、この計画の将来都市像である「ゆとりと活力のあるまち」の実現に向け、新たな気持ちで臨んでいく所存です。

ご承知のとおり、現在、海老名駅東口が大きな変革を遂げようとしています。この海老名駅周辺整備事業は、自由通路と駅前広場の整備を中心として、平成16年に竣工する予定ですが、今年4月には、映画館や百貨店を含む、大規模な複合型商業施設がオープンします。海老名中央公園も、「やすらぎの場」として再びご利用できます。

先日、建設現場を訪れた際、商業施設の斬新な外観と、駅周辺の変化の速さに、驚きと期待を感じました。そんな中で目に止まったのが、中央公園の観光シンボルモニュメント・七重塔です。この塔は、かつての相模国分寺にあった七重塔を模したものです。

### 亀井市長が年頭所感

海老名は、相模国分寺跡をはじめ数々の史跡や文化財に恵まれています。これらの歴史的遺産を前にすると、なぜか落ち着いた気持ちになります。それは、世の中が時間とともに目まぐるしく変化する中、以前と変わらぬ姿のままで残っていること、遠い昔に想いをさせることなどで、心が潤うせいかも知れません。

安全で快適、より利便性に富んだ市民生活のためには、さまざまな分野で改革や変化が必要です。一方で、歴史的遺産のように、あるがままの形で過去から引き継ぎ、守り、未来へ継承できる環境も、まちづくりには不可欠——整備の進む駅前の様子を見て、改めてそんな思いを強くしています。

まちづくりには、市民のみなさんと行政との協働が大切、と考えています。市民のみなさんが計画の段階から参画して意見を出し、市と知恵を出し合って、両者の英知が結集する…こうした形でまちづくりが進めば、最初は「夢のような」と思われる話でも、やがては「夢のある」計画になります。

今年も全力で、「夢のあるまちづくり」に取り組んでまいります。みなさんのご理解とご協力をお願いして、年頭の所感といたします。